

南山中学校区 地域ぐるみ ふれあい会議 第3回報告

～ふだんの高齢者の見守り・支え合い～

平成26年9月12日（金）、第3回南山中学校区ふれあい会議を開催しました。今回は、前回のテーマごとに分かれ、前回参加者で出した「困りごと」を共有し、「困りごと」を改善・解決するための具体的な取り組みアイデアを考え話しあいました。新しく参加された方2名を加え、介護保険サービス事業者・民間事業者・民生委員・自治会長さんなどなど、様々な立場の方々、18名がご参加くださいました。

1. ふれあい会議の目的

** 検討する「取り組み」のイメージ **

地域住民・地域の団体・民間事業者や介護保険事業者・行政等が、役割分担をしながら、協働して取り組めそうな取り組み

高齢者や、その家族の、実際の困りごとや希望に即した取り組み

行政のみが取り組むべきものについては、意見として伺いますが、継続的には話し合いません（行政に持ち帰って検討）。

2. 今日の話し合い

前回のテーマは、「**認知症の症状がある人が地域でくらししていくために周りの人が支援できること**」「**事業者(民間・介護保険等)と連携した高齢者生活支援のアイデア**」と2つのテーマでグループ分けをして話しあいましたが、前回のアンケートで、「**高齢者の独居者支援(ゴミ出しや買い物・見守り支援)**」のテーマでも話し合いたいとの意見もあり、3つのテーマに分けてグループでの話しをするようになりました。当日、興味があるグループに分かれてもらったところ、独居者支援のグループの人数が多く、興味関心が高いことが伺えました。

グループに分かれたあと、個別作業として、前回でた課題から、自分なりに取り組みのアイデアを記入し、そのあとグループそれぞれアイデアを出し合い、取り組めそうなものを決めて行く作業でした。アイデアがたくさんでたこともあり、具体的に取り組めそうなものを決めて行くところまでは作業が進まず、次回へと持ち越しになりました。



A 認知症の症状がある人が地域でくらししていくために周りの人が支援できること

話し合いででてきた主なアイデアです

多くの人に周知啓発を！

人が多く集まる場所で認知症の啓発チラシを配布。認知症に興味・関心を持ってもらう取り組みをしたい

認知症カフェを作ろう！

認知症の人も家族も地域の人たちも集えて、認知症を知ってもらえる場所を作ろう

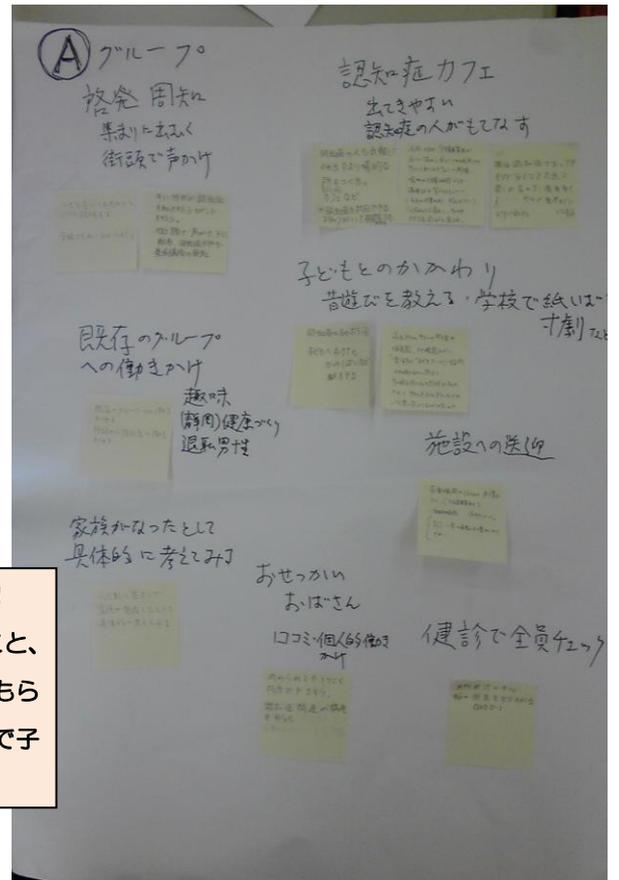
健診で認知症の兆候をチェックできればいいなあ！

健康診断で脳の委縮などがわかるような健診があれば、早期診断ができてよいのではないかな。

子どもとの関わりを大切に！

子どものうちから、高齢者のこと、認知症の人のことを理解してもらうために昔遊びや紙芝居などで子どもとふれあう機会をつくる。

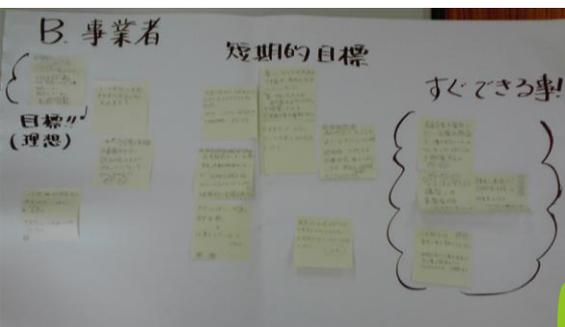
上記をまとめてみて、**認知症カフェ**については、参加していた「グループホーム愛の家」でもやってみようという話も出てきて、具体的に取り組みを考えられそうです。



担当/今井

B 事業者（民間・介護保険）と連携した高齢者生活支援のアイデア

Bチームは今回、5人で検討。様々な取り組みアイデアについて、①すぐに出来ること ②短期的目標 ③理想とする目標 に分類をしました。アイデアの内容は以下のとおりです。



理想の目標！

小中学校と連携し、子ども達の交流の場を作る(家庭菜園など)。

介護保険の事業所で、認知症の方がスタッフになってカフェをやる。

小学校や幼稚園などの教育機関と協力し、子供の発表会など事業所とのふれあいの場を作る。

シルバー向けの大きな家を作る(大きな庭付き一軒家)。畑、陶芸などの作業。販売コーナーや軽食コーナーがある。分かち合う喜び、集う喜び、作る喜び。

短期的目標

くらし何でもお助け隊や市内の大きなスーパーに、「ご本人が店で買い物したものを配達するサービス」を提案(配達に高齢者を雇用)。

各事業者が合同でサービス内容の説明会を行う。

南山地区のサロンに認知症やデイサービス、介護認定に詳しい方が参加し、気軽に相談できるようにする。

軽度認知症の方も参加できる高齢者向けのスポーツ大会を。

施設に入居されるまで、介護保険のことなどを知らなかったという声あり。地域に向けた説明会を充実。

駅前センターや市民活動推進センターに「お助け掲示板」みないなものを作り、元気な方が継続的に支援。

手伝って欲しい内容と「希望金額」を書いて、仕事したい人になく。

認知症の方も出来ることが多い。ボランティアもしたい！

すぐできること

高齢者を雇用したい企業や商店と、働きたい高齢者のマッチングイベントを開催する。

「なるほど行政講座」の事業者版を作る(みまもりネットの協力事業者に聞いてみる)

事業者と連携した高齢者支援の特集号を作る

公民館まつりで夏祭り等の飾り付けづくり、年間の市の行事で簡単な手作業などを依頼する。

担当/鈴木

3. 次回からの進め方

今回から、3つのテーマに分かれてグループごとに課題、具体的な取り組み方法などを話しあってきました。各グループごとに話しではとても活気があり、具体的な取り組みもたくさんできました。そのため、今回は取り組みを出すだけで終了になってしまったグループがほとんどでした。そのため、今回の話し合いを踏まえて、次回は、具体的に今年度取り組めそうなものを決めて行き、詳細な話し合いができればと思っています。ぜひ、今年度取り組めるアイデアを出し、皆さんで実現化しましょう。

例えば、9月の会議で、Bグループに入ったけどCグループにも興味があるので、グループ変更したい！という方は10月の会議でお知らせいただくか、10月欠席の場合は地域包括支援センター鈴木・今井までご連絡ください。

4. ふれあい会議 今後の日程

次回は、**10月10日(金)午後2時~**です。9月ご欠席のみなさまも、是非ご参加ください♪

【今後の開催予定】毎月第2金曜日 午後2時 ~ 午後4時ごろ

平成26年10月10日・11月14日・12月12日・平成27年1月9日・2月13日

※ 場所は、毎回 白井駅前センター です。

続々と白井市高齢者見守りネットワーク事業協力者が増えています



認知症サポーター養成講座の様子

ふだんの業務や活動の中で、ゆるやかに高齢者の暮らしを見守っていただく、「しろい高齢者みまもりネット」、7月の協定書締結式・連携会議のあとも、協力事業者が3か所、協力団体が5か所、協力機関が1か所、増えました。教育委員会が新たに協力機関となり、市内小中学校の協力が得られることとなりました。みまもりネットの活動を通して、高齢者を地域で見守っていただく重要性をお伝えする機会が増えました。

また、協力事業者のうち、申出をいただいた企業に、認知症サポーター養成講座を実施しました。今後も、高齢者見守りや支え合いの輪が広がるように、地域の皆様と力を合わせて対応していきたいと思えます。

「高齢者の見守り」ネットワーク担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 鈴木・今井

電話 047-497-3474 FAX047-498-4832 メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp

地域福祉計画（地域ぐるみネットワーク）担当

白井市 健康福祉部 社会福祉課 厚生班 電話 047-497-3482